



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイエスエス

コード番号 6074 URL <http://www.jss-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 田原 富夫

TEL 06-6449-6121

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

平成28年12月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,186	3.4	231	2.2	203	△9.4	127	△11.7
28年3月期第2四半期	4,049	4.8	226	45.9	224	57.8	144	118.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	63.28	—
28年3月期第2四半期	71.69	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,818	2,071	35.6
28年3月期	5,260	1,959	37.2

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,071百万円 28年3月期 1,959百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,492	5.5	480	7.7	470	4.5	308	8.0	153.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	2,013,028 株	28年3月期	2,013,028 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	176 株	28年3月期	141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	2,012,854 株	28年3月期2Q	2,012,955 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定期性情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2)当社は、平成28年11月11日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 追加情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、個人消費の回復や企業収益の改善、海外からの訪日客による購買需要の増加などにより、全体として回復基調にあるものの、経済全体の先行きについては不透明な状況が続きました。

この様な状況の中、当社におきましては、創業40周年の感謝を会員の皆様を示すとともに、リオ・オリンピック出場選手、ヘッドコーチなど、様々なツールを用い、社内外に対して当社のアピールをして参りました。

その結果、平成28年9月より実施した全社的な会費値上げを事前に告知していたにも関わらず、既存事業所においては前年同期比で約900名の会員数増加を確保することができました。

一方、前年度末に受託校である御影事業所の契約を終了した影響により、当第2四半期末における全事業所の会員数は104,753名（前期比0.6%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,186百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益231百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益203百万円（前年同期比9.4%減）、四半期純利益127百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ557百万円増加し、5,818百万円となりました。これは主に、有形固定資産が362百万円、現金及び預金が202百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ445百万円増加し、3,746百万円となりました。これは主に、短期借入金が363百万円、前受金が77百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ112百万円増加し、2,071百万円となりました。これは主に、繰越利益剰余金が四半期純利益の計上により127百万円増加し、配当金の支払により15百万円減少したことなどによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ202百万円増加し、489百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は271百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が202百万円、減価償却費が94百万円となったことによるものであります。また、前第2四半期累計期間に比べ得られた資金は27百万円増加しておりますが、主に前受金の増減額が47百万円増加した一方で、未払金の増減額が26百万円減少したことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は357百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が337百万円、敷金及び保証金の差入による支出が22百万円となったことによるものであります。また、前第2四半期累計期間に比べ使用した資金は336百万円増加しておりますが、主に有形固定資産の取得による支出が324百万円、敷金及び保証金の差入による支出が11百万円増加したことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は288百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額が363百万円、長期借入れによる収入が200百万円となった一方で、長期借入金の返済による支出が226百万円、社債の償還による支出が24百万円となったことによるものであります。また、前第2四半期累計期間に比べ得られた資金は520百万円増加しておりますが、主に短期借入金の純増加額が337百万円、長期借入れによる収入が200百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	286,940	489,830
受取手形及び売掛金	181,694	157,492
商品	100,820	96,607
その他	111,319	131,586
貸倒引当金	△443	△184
流動資産合計	680,330	875,332
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,906,293	2,055,714
土地	1,712,686	1,712,686
その他(純額)	143,020	355,793
有形固定資産合計	3,762,000	4,124,194
無形固定資産	31,106	26,917
投資その他の資産		
敷金及び保証金	659,837	680,193
その他	127,723	134,787
貸倒引当金	△37	△22,519
投資その他の資産合計	787,524	792,462
固定資産合計	4,580,631	4,943,574
資産合計	5,260,961	5,818,907
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	224,578	272,181
短期借入金	74,610	437,734
1年内償還予定の社債	48,500	48,500
1年内返済予定の長期借入金	450,919	374,052
未払法人税等	94,870	100,582
未払消費税等	98,734	51,573
前受金	472,185	549,850
賞与引当金	87,596	92,567
その他	538,909	561,906
流動負債合計	2,090,903	2,488,947
固定負債		
社債	59,000	34,750
長期借入金	863,696	914,070
退職給付引当金	170,652	161,073
資産除去債務	87,342	104,641
その他	29,700	43,511
固定負債合計	1,210,391	1,258,047
負債合計	3,301,294	3,746,994
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	330,729	330,729
資本剰余金	125,665	125,665
利益剰余金	1,503,386	1,615,665
自己株式	△113	△147
株主資本合計	1,959,667	2,071,912
純資産合計	1,959,667	2,071,912
負債純資産合計	5,260,961	5,818,907

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	4,049,899	4,186,975
売上原価	3,395,010	3,480,133
売上総利益	654,888	706,841
販売費及び一般管理費	428,061	475,044
営業利益	226,826	231,797
営業外収益		
受取利息	390	345
受取配当金	159	159
助成金収入	6,000	150
保険事務手数料	398	398
その他	3,347	1,350
営業外収益合計	10,296	2,403
営業外費用		
支払利息	9,350	6,381
社債利息	665	449
貸倒引当金繰入額	—	22,516
その他	2,380	1,291
営業外費用合計	12,396	30,639
経常利益	224,726	203,561
特別損失		
固定資産除却損	381	1,169
減損損失	748	—
特別損失合計	1,130	1,169
税引前四半期純利益	223,596	202,391
法人税、住民税及び事業税	74,593	74,637
法人税等調整額	4,696	379
法人税等合計	79,290	75,016
四半期純利益	144,305	127,375

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	223,596	202,391
減価償却費	100,990	94,924
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△290	22,223
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,671	4,970
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,158	△9,578
受取利息及び受取配当金	△549	△504
支払利息	9,350	6,381
社債利息	665	449
有形固定資産除却損	381	1,169
減損損失	748	—
売上債権の増減額 (△は増加)	9,208	10,830
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,396	4,212
仕入債務の増減額 (△は減少)	53,660	47,602
未払金の増減額 (△は減少)	2,939	△23,839
未払費用の増減額 (△は減少)	△20,520	△12,031
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△68,684	△46,799
前受金の増減額 (△は減少)	30,071	77,665
その他	3,448	△24,221
小計	330,131	355,847
利息及び配当金の受取額	549	504
利息の支払額	△10,281	△7,204
法人税等の支払額	△75,906	△77,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,493	271,623
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△13,576	△337,927
無形固定資産の取得による支出	△2,110	△280
貸付けによる支出	△4,740	—
貸付金の回収による収入	2,033	1,535
敷金及び保証金の差入による支出	△11,328	△22,894
敷金及び保証金の回収による収入	8,895	2,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,825	△357,493
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	25,136	363,124
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△211,601	△226,493
社債の償還による支出	△24,250	△24,250
配当金の支払額	△10,064	△15,096
自己株式の取得による支出	△28	△33
その他	△10,992	△8,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,801	288,760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,133	202,890
現金及び現金同等物の期首残高	349,197	286,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	341,064	489,830

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。